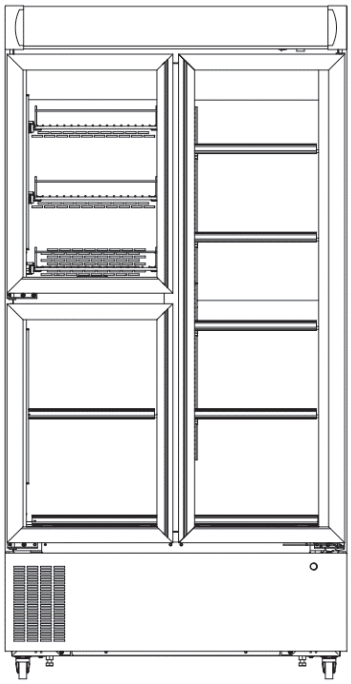
MITSUBISHI ELECTRIC

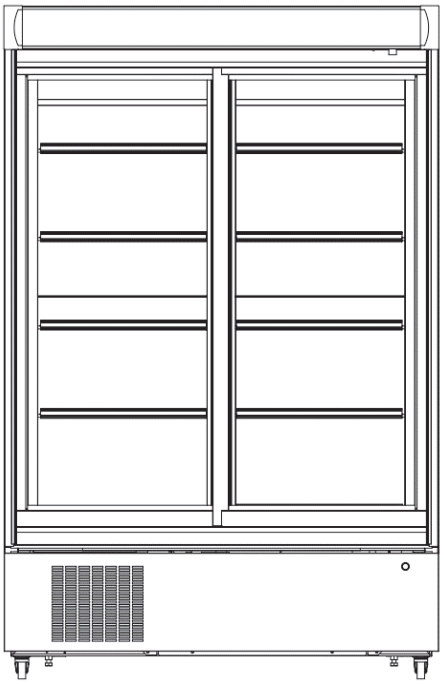
三菱リーチインタイプクーラー（冷凍機内蔵形）コカ・コーラ向け

取扱説明書（業務用）ノンフロン

ビーシー　デーエイチ　アールイーエイチ
BC-DH33REH
BC-DH43REH
ビーシー　エス　アールイーエイチ
BC-S42REH



（BC-DH33REH）



（BC-S42REH）

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
  特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を譲渡または貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を譲渡や貸与されるときは製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けないでください。
  （安全や機能の確保ができません）

お取扱代理店の方へ

クーラーをお客様に引き渡しされる前に、必ず取扱説明書で「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

もくじ

		ページ
ご使用の前に	安全のために必ず守ること	3
	各部のなまえとはたらき	6
	ご使用上のお願い	8
	ご使用前の準備	9
ご使用のときに	ご使用方法	13
	冷却運転を開始・停止する	・・・13
	飲料を入れる	・・・14
	ホット or コールド室の使い方（BC-DH機種のみ）	・・・15
	冷却温度切り替えについて	・・・16
	冷却温度切り替えを開始・停止する	・・・16
こんなときに	お手入れと点検	17
	お手入れ・点検箇所と頻度	・・・17
	お手入れをする前に	・・・18
	フィルター　お手入れ：月に1回	・・・19
	電源プラグ　お手入れ：半年に1回	・・・19
	蒸発板　お手入れ：半年に1回	・・・20
	ドレン口・ドレン溝　お手入れ：月に1回	・・・21
	消耗品	・・・21
	漏電遮断器　点検：月に1回以上	・・・22
	蒸発皿　点検：日常	・・・22
	故障かな？と思ったら	23
	運転しない	・・・23
	よく冷えない	・・・23
	よく温まらない（BC-DH機種のみ）	・・・24
	音がうるさい	・・・24
	照明がつかない	・・・25
	蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	・・・25
	フィルター清掃ランプが点灯する	・・・25
	フィルター清掃ランプが消灯しない	・・・25
	据付工事確認と試運転	26
	保管・移設・廃棄について	26
	仕様	27
	アフターサービス	28

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆　誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

◆　図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項		
禁止	分解禁止	接触禁止
ぬれ手禁止	水ぬれ禁止	

お守りいただく「指示」事項	
指示を守る	アース接続
電源プラグを抜く	

電源プラグ・電源コード

⚠警告	禁止	**電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない** 火災・感電の原因	禁止	**電源コードを傷つけたり加工しない** 火災・感電の原因
	禁止	**電源コードを無理に曲げたりたばねたりしない** 火災・感電の原因	禁止	**電源プラグはコードを引っ張って抜かない** 発熱・火災の原因
	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因	禁止	**電源コードは延長コードの使用やタコ足配線をしない** 発熱・火災の原因
	ほこりを取る	**電源プラグのほこりを定期的に取る** 火災の原因	差し込む	**電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因

据え付け時

⚠警告	水ぬれ禁止	**屋外で使用しない** 火災・感電・漏電の原因	水ぬれ禁止	**湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない** 漏電・感電の原因
	依頼する	**据え付けは当社代理店または設置業者に依頼する** 火災・感電・水漏れの原因	使用する	**電源は専用の単相100Vコンセントを使用する** 発熱・火災の原因
	アース接続	**アースを接続する** **アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない** 感電の原因	固定する	**製品質量に十分耐える所に据え付けて固定する** ケガの原因

安全のために必ず守ること つづき

ご使用時

⚠警告	水ぬれ禁止	**製品に直接水をかけない** 漏電・感電の原因	入れない	**揮発性・引火性のあるものは庫内に入れない** 爆発・火災の原因
	置かない	**可燃性のスプレーを近くで使用したり可燃物を置かない** 爆発・火災の原因	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電気部品のスイッチを操作しない** 感電の原因
	禁止	**ホット用以外の炭酸飲料・ビン飲料をホット棚に置かない** 破損によるケガ原因 （BC-DH機種のみ）	接触禁止	**ホット運転時は壁面や棚に直接手を触れない** やけどの原因 （BC-DH機種のみ）
	電源を切る	**漏電遮断器が作動した場合は電源プラグを抜くか、元電源を切る** 火災・感電の原因	電源を切る	**異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切る** 火災・感電の原因
	換気をよくする	**換気をよくする** 冷媒がもれたときに酸素欠乏の原因		
⚠注意	置かない	**製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない** ケガ・感電の原因	乗らない	**製品の上に乗らない** ケガの原因
	のせない	**棚には許容質量以上の商品をのせたり投げ入れたりしない** ケガの原因	禁止	**棚を引き出したまま寄りかかったり、つかまったりしない** 転倒・ケガの原因
	禁止	**扉にぶらさがらない** 転倒・ケガの原因	セットする	**棚の取り付けは正しく確実にセットする** ケガの原因

点検・お手入れのとき

⚠警告	分解禁止	**専門業者以外の人は絶対に分解・修理・改造をしない** 火災・感電・水漏れ・ケガの原因	使用しない	**指定以外の冷媒を使用しない** 破裂・ケガの原因
	電源を切る	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器を切る** 感電・ケガの原因	確認する	**漏電遮断器は定期的に動作を確認する** 火災・感電の原因
⚠注意	照明回路を切る	**蛍光灯交換時は、電源プラグを抜くか、漏電遮断器を切る** ケガの原因	差し込む	**蛍光灯交換時は、ソケットへ確実に差し込む** ケガの原因
	接触禁止	**フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない** ケガの原因		

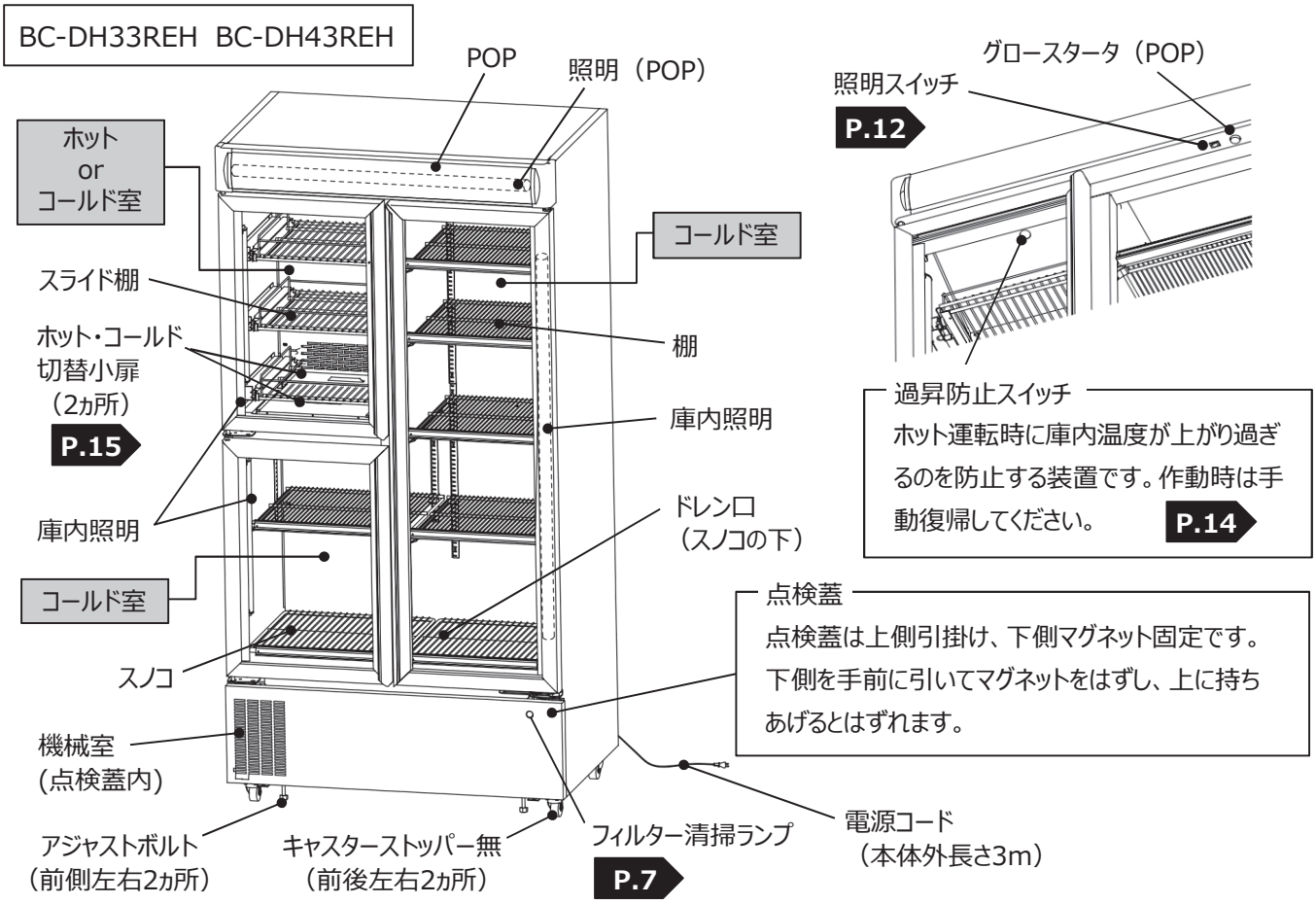
保管・移設時

⚠警告	電源プラグを抜く	**長期間ご使用にならない場合は、安全のために電源プラグを抜く** 火災の原因	依頼する	**移設は当社代理店または専門業者に依頼する** 火災・感電・水漏れ・ケガの原因
	力を加えない	**製品を移動するときは、ガラス部分に力を加えない** ケガの原因	傷つけない	**製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを傷つけないように移動する** 火災・感電の原因
	避ける	**製品を保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避ける** ケガや閉じ込めの原因		
⚠注意	水ぬれ禁止	**長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない** 漏電・感電の原因	よく乾燥させる	**長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気を十分拭き取ったあと、よく乾燥させる** 水漏れの原因
	排水する	**製品を移動するときは、蒸発皿の水を排水する** 漏電・感電の原因	転倒に気をつける	**製品を移動するときは、転倒に気をつける** ケガの原因

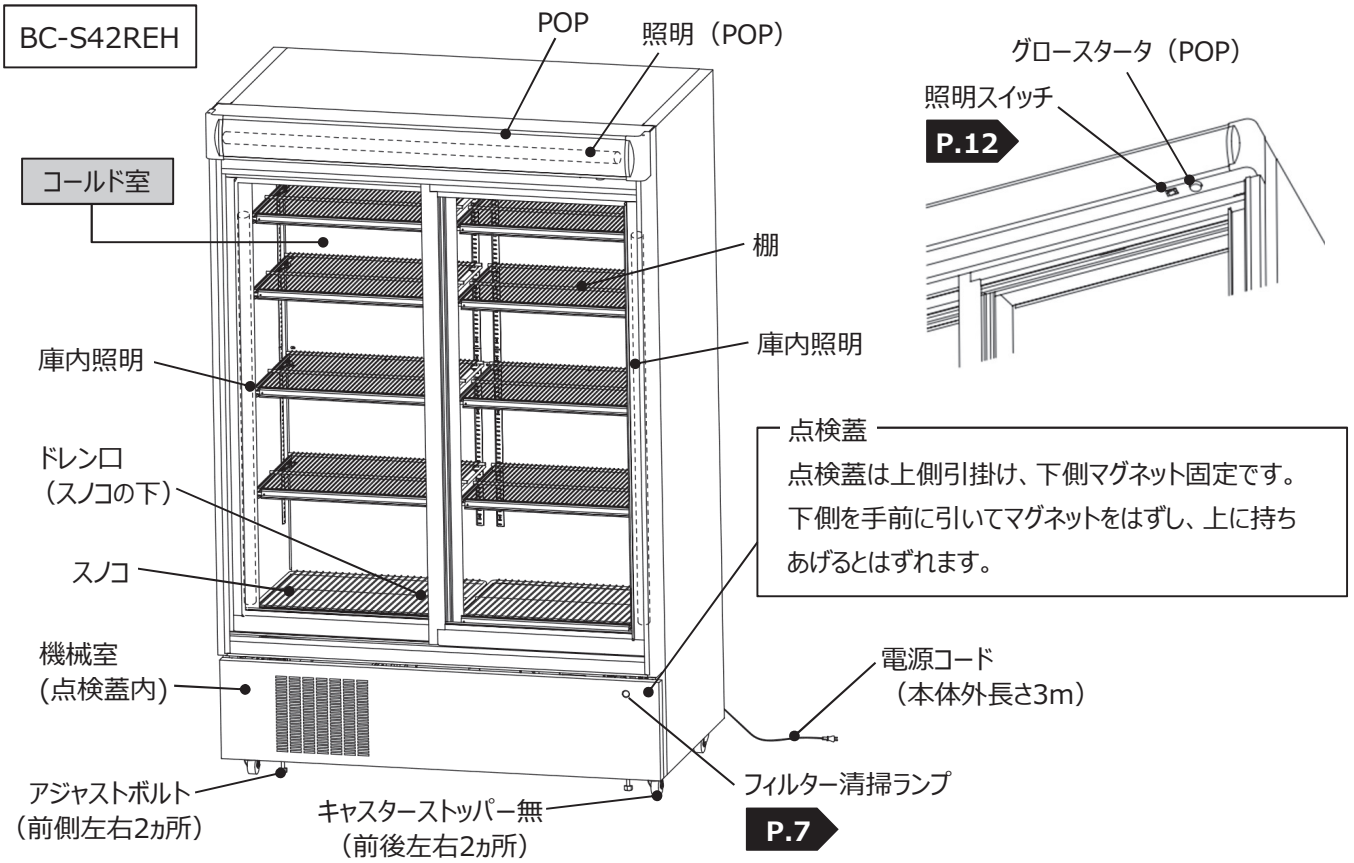
各部のなまえとはたらき

本体

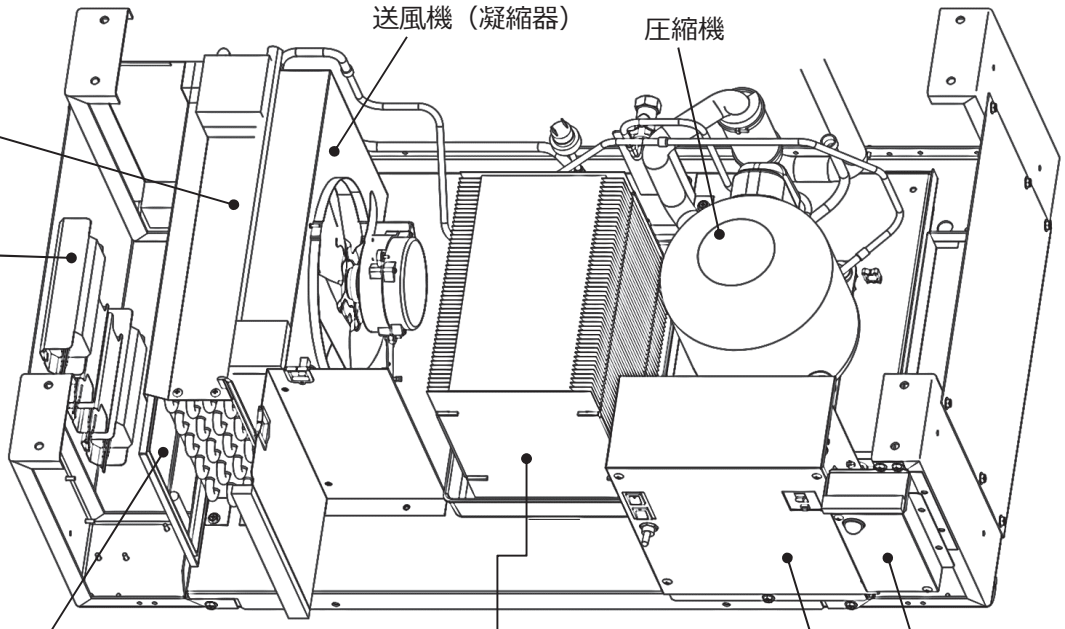
BC-DH33REH BC-DH43REH



BC-S42REH



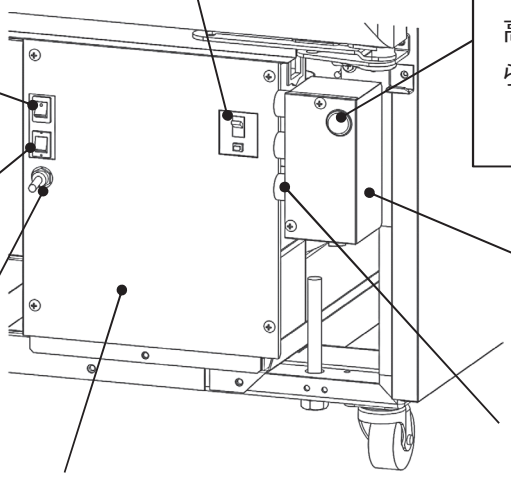
機械室



フィルター
外気を吸込むときに、ほこり等による凝縮器の目詰まりを防止するためのフィルターです。
P.19

蒸発板・蒸発皿
庫内から排水されるドレン水を蒸発板で吸水し、凝縮器の排熱で蒸発させます。
P.20 P.22

電装品



温度切替スイッチ
冷却運転温度を一定時間切り替えるときに使用します。
P.16

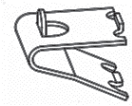
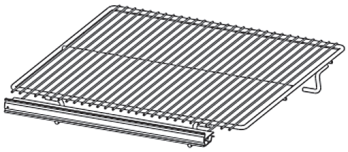
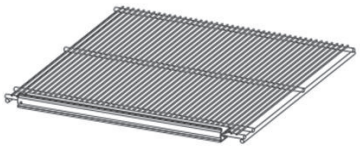
冷凍機スイッチ
運転を開始・停止するときに使用します。
P.13

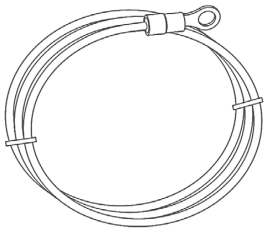
ホット室スイッチ
ホット運転をおこなうときに使用します。
（BC-DH機種のみ）
P.15

フィルター清掃ランプ
フィルターの目詰まりなどで圧縮機が高温になっているとき、点灯してお知らせします。
P.19 P.25

各部のなまえとはたらき　つづき

付属品

受け金具	スノコ	棚
 ご使用方法 P.12 BC-DH機種　数量 20個 BC-S機種　数量 32個	 数量　2枚	 BC-DH機種　数量　左用　1枚、右用　4枚 BC-S機種　数量　左右用8枚

ホット・コールド 表示（BC-DH機種のみ）	アース線
つめた～いお飲物（表面） あたたか～いお飲物（裏面） ご使用方法 P.15 出荷時は"つめた～いお飲物"面を表側にして ホット or コールド室のドアフレームの内側に 挿入しています。 数量　1枚	 ご使用方法 P.11 （銅線直径1.6㎜） 3.5m 数量　1本

ご使用上のお願い

- 飲料販売用のクーラーです。医薬品・学術試料など飲料以外の保管には使用しないでください。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗等）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。
  当社代理店にご相談ください。
- 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。

ご使用前の準備

据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるよう次のような場所に設置してください。
ご使用されるお客様自身で据え付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

周囲環境

温度	5～30℃
湿度	60%以下

●この表の範囲を外れると性能の低下の原因になります。
●周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により正常な運転が保てなくなります。

⚠警告	**据え付けは当社代理店または設置業者に依頼する** 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因

熱気から離れたところ

●近くに熱源があるところや、直射日光のあたるところに据え付けないでください。

▼

クーラーの周囲温度が上昇し、冷却性能低下の原因になります。

吸気・排気スペースを確保する

●クーラーの前後左右に10cm以上のすきまを確保してください。
●前面の吸気口や背面の排気口をダンボールや商品などでふさがないでください。

▼

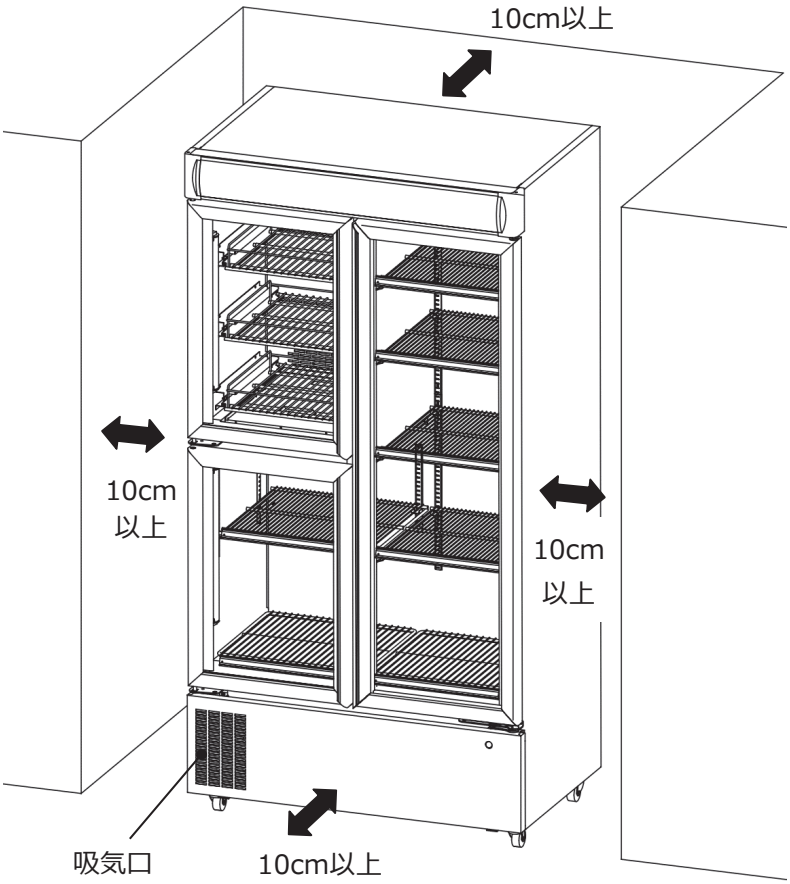
吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。

丈夫で水平なところ

●丈夫で水平なところに据え付けてください。

▼

音や振動の原因になります。



※排気口は背面下部

ご使用前の準備 つづき

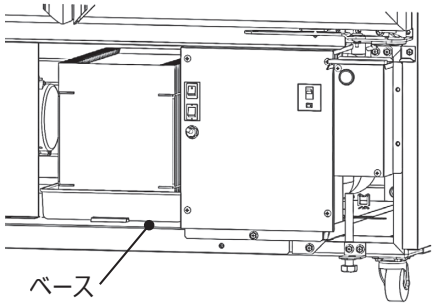
設置

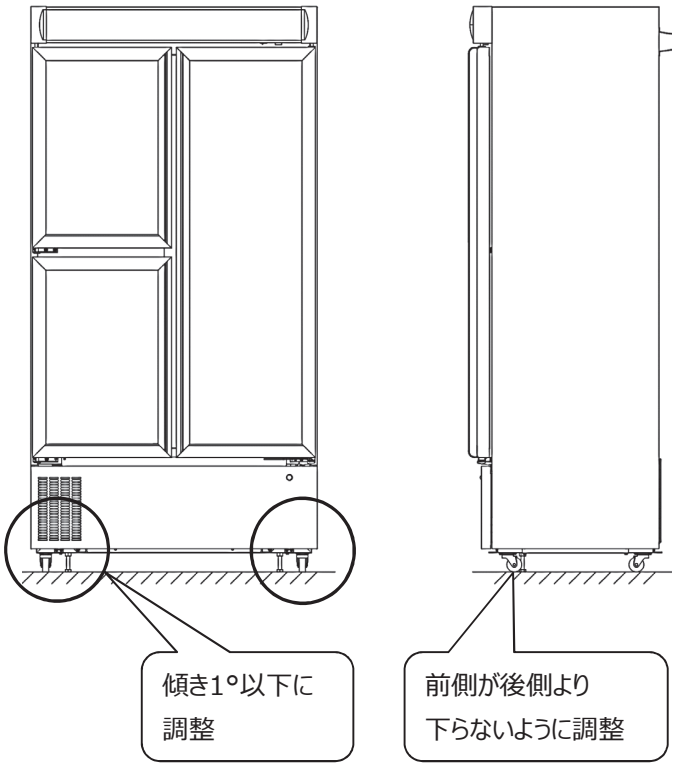
クーラーが移動しないように、アジャストボルト（前側左右2ヵ所）で固定してください。

左右の傾き

クーラーの左右の傾きが1°以下になるように
アジャストボルトで調整してください。

●水平の確認は機械室（点検蓋内）のベース上で
行ってください。





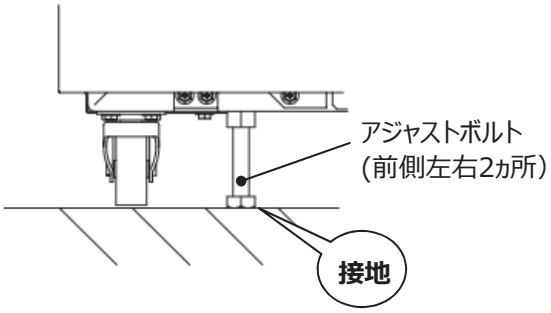
前後の傾き

前後の移動・前倒れがないようにアジャストボルトで
調整し固定してください。

●前倒れになっている場合は、扉が閉まりにくくなります。

固定

クーラーが移動しないようにアジャストボルトで
前後左右2ヵ所を固定してください。

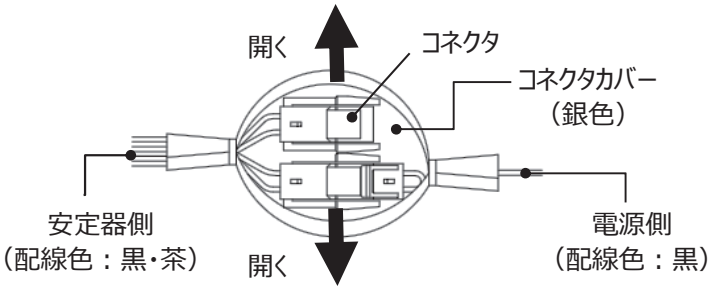


安定器周波数の切り替え

安定器周波数は工場出荷時50Hzに設定しております。60Hz地区でご使用の場合は、次の手順で周波数の切り替えをおこなってください。

1 **コネクターカバー（銀色）を
コネクタが見えるまで開く**

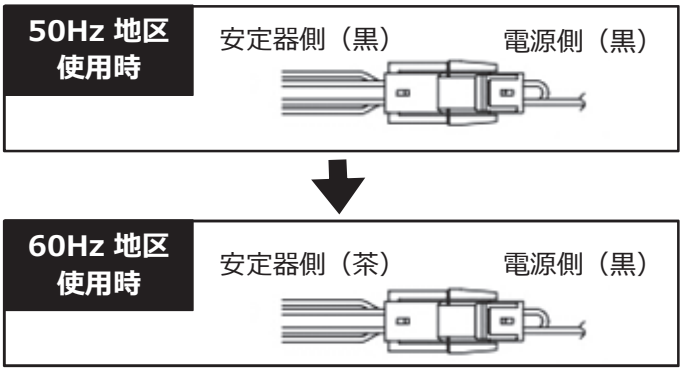
●コネクタは機械室左端にあります。
作業は電源プラグを抜いた状態で
おこなってください。



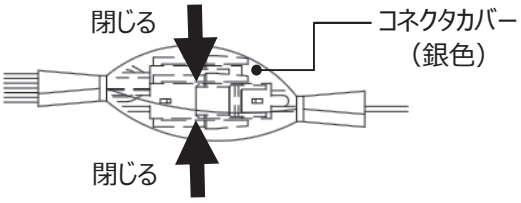
次ページへつづく

2 コネクタを差し替えて、配線色の組み合わせを変える

●50Hz地区でご使用の際は、60Hz用の結線で使用しないでください。
安定器故障の原因になります。



3 コネクターカバー（銀色）を閉じる



電源

電源

電源	電源プラグ
単相100V	2極（125V 15A）

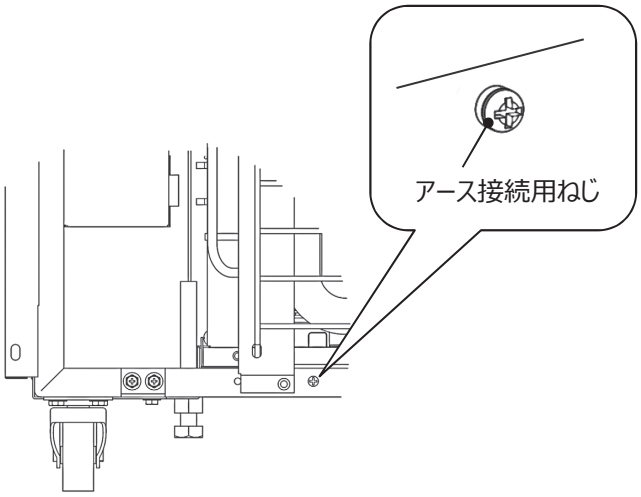
⚠警告	**電源は専用の単相100V コンセントを使用する** 発熱・火災の原因

アース

万が一の感電を防止するために、アースを接続してください。

●アース接続用ねじはクーラー本体背面の左下部にあります。

●アース端子がない場合は、必ずD種接地（アース）工事を実施してください。



アース線について

付属品のアース線をご使用ください。
◆アース線（銅線直径1.6mm以上）

このクーラーの据え付けは、当社代理店またはボトラー社が下記に基づき実施しています。
据付工事完了後、26ページの事項をお客様自身でご確認ください。

工事名	関連法規・内容	資格
アース接地工事	「電機設備に関する基準」及び「内線規程」	第二種電気工事士

⚠警告	**アースを接続する** **アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線には接続しない** 感電の原因

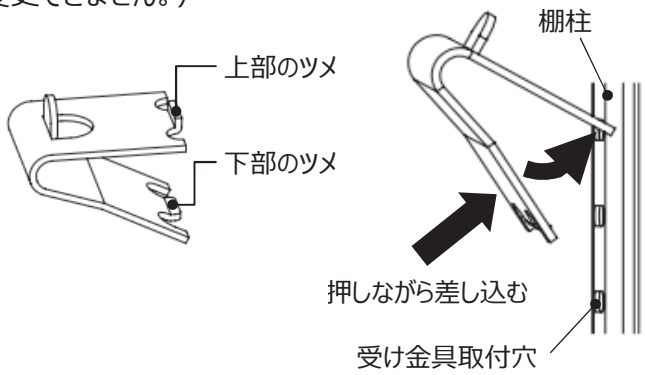
ご使用前の準備 つづき

棚（コールド室）をセットする

コールド室に付属の受け金具を棚柱の取付穴に差し込み、その上に棚をのせてください。
（BC-DH機種のホットorコールド室内のスライド棚の位置は変更できません。）

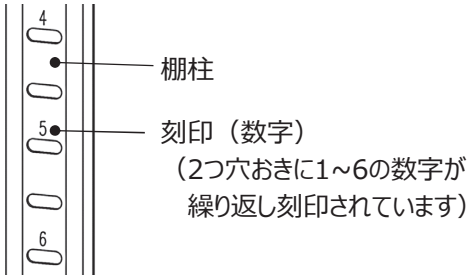
1 棚をセットする位置に受け金具を取り付ける

- 受け金具は棚一枚につき4個必要です。
- 棚をセットする位置に、上部のツメを棚柱の取付穴に差し込んだあとに、下側を押し上げながら下部のツメを穴に差し込む。



受け金具の取付位置の目安について

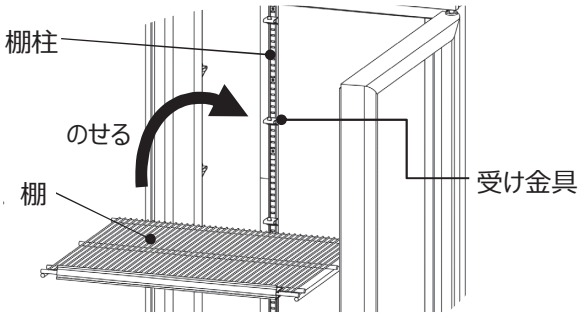
棚柱に受け金具取付位置の目安となる刻印（数字）があります。
刻印を目安に4ヵ所の受け金具が同じ位置になるように取り付けてください。



2 棚を受け金具の上にのせる

- 棚はがたつきのないことを確認ください。

⚠ 警告	**棚の取り付けは正しく確実にセットする** ケガの原因

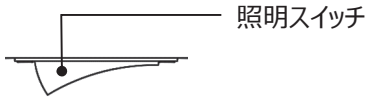


照明を点灯・消灯する

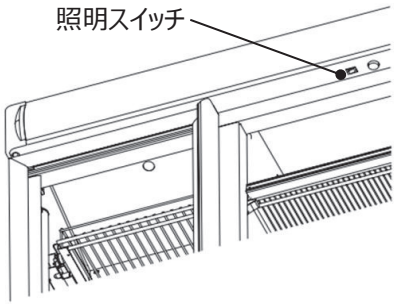
照明スイッチで照明の点灯・消灯をおこないます。工場出荷時は「OFF（消灯）」になっています。

クーラー右上の照明スイッチを「ON」「OFF」する

- 照明（庫内）・照明（POP）すべてが点灯・消灯します。



OFF（消灯）⟷ ON（点灯）



ご使用方法

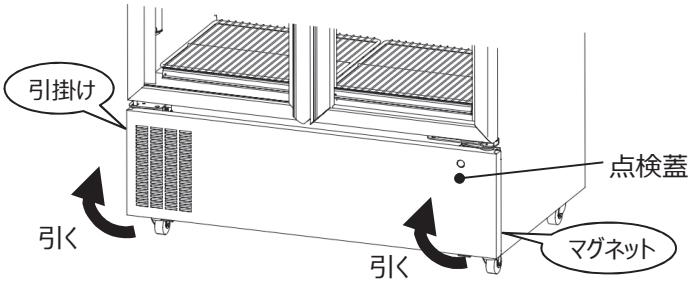
飲料販売用のクーラーです。医薬品・学術試料・飲料以外の保管には使用しないでください。

冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前に、クーラー専用の単相100Vコンセントを使用していることを確認してください。

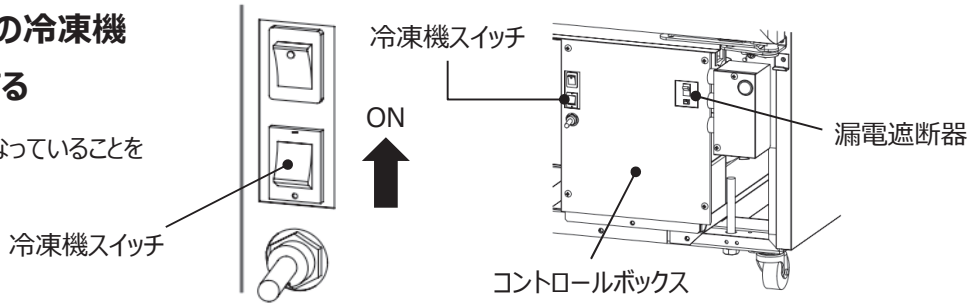
1 点検蓋をはずす

●点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



2 コントロールボックスの冷凍機スイッチを「ON」にする

●漏電遮断器が「ON」になっていることを確認してください。



冷却運転を停止するときは、逆の手順で冷却運転を停止してください。

冷却運転の設定・動作について

●庫内温度設定について

適温にセットして出荷していますので、温度設定変更の機能はありません。
ただし、扉の開閉の少ない夜間に消費電力を抑えるため、一定時間設定温度を変更することができます。P.16

●除霜運転について

冷却器の霜取りのため、12時間に1回除霜運転をします。
一時的に庫内温度が上がりますが、異常ではありません。

●温度調整運転について

庫内温度が設定温度まで下がると、圧縮機と凝縮器ファンが停止します。
庫内温度が規定値まで上がると自動的に運転を再開します。

ご使用方法 つづき

飲料を入れる

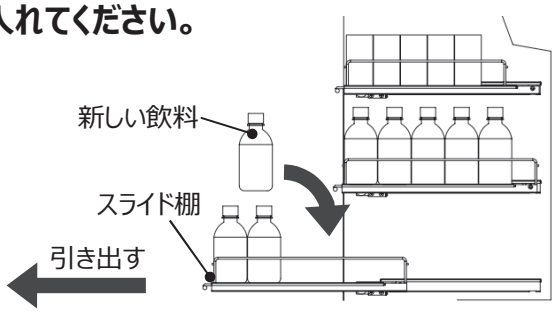
コールド室

飲料は、棚からはみ出したり、吹出口や吸込口を塞がないように入れてください。

●飲料で吹出口や吸込口をふさいだり、エアカーテンよりはみ出して陳列すると、冷気の循環が悪くなり、商品が冷えにくくなる原因になります。

ホット or コールド室

スライド棚を手前に引き出し、新しい飲料は奥へ入れてください。



棚1枚あたりの許容質量と収納本数

※飲料は立てた状態で入れてください。

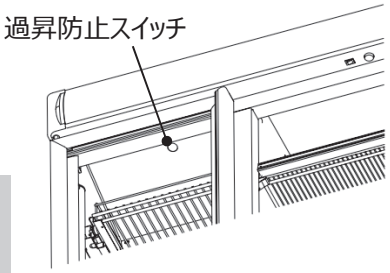
		BC-DH33REH			BC-DH43REH			BC-S42REH
		棚	スライド棚 最上段	スライド棚 2・3段	棚	スライド棚 最上段	スライド棚 2・3段	棚
許容質量		**60kg**	**20kg**	**20kg**	**60kg**	**20kg**	**20kg**	**60kg**
250g缶	本数	49本	36本	42本	70本	48本	56本	70本
	質量	15kg	11kg	13kg	21kg	15kg	17kg	21kg
350g缶	本数	36本	20本	25本	48本	30本	36本	48本
	質量	14kg	8kg	10kg	19kg	12kg	14kg	19kg
350ml ペットボトル	本数	36本	20本	25本	48本	48本	36本	48本
	質量	14kg	8kg	10kg	18kg	11kg	14kg	18kg
500ml ペットボトル	本数	36本	–	–	42本	–	–	42本
	質量	12kg	–	–	23kg	–	–	23kg
1.5L ペットボトル	本数	16本	–	–	20本	–	–	20本
	質量	25kg	–	–	32kg	–	–	32kg
2.0L 角ペットボトル	本数	16本	–	–	20本	–	–	20本
	質量	33kg	–	–	41kg	–	–	41kg

ホット運転時の飲料補充について（BC-DH機種のみ）

●加温可能な飲料を入れてください。

・キャップがオレンジやホット用の記載があるペットボトル
・キャップがオレンジやホット用の記載があるボトル缶
・缶飲料、ホット用の記載がある炭酸缶飲料

●ホット室の飲料本数が少ないと過昇防止スイッチが作動して、温まらないことがあります。飲料補充はこまめにおこなってください。
※万が一、過昇防止スイッチが作動した場合は、ホット室天井の穴からスイッチを押して復帰してください。



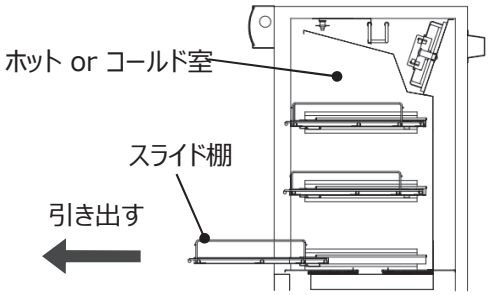
⚠警告	**棚には許容質量以上の商品を載せたり投げ入れたりしない** ケガの原因

⚠警告	**ホット用以外の飲料をホット室に置かない** 破損によるケガ原因

ホット or コールド室の使い方（BC-DH機種のみ）

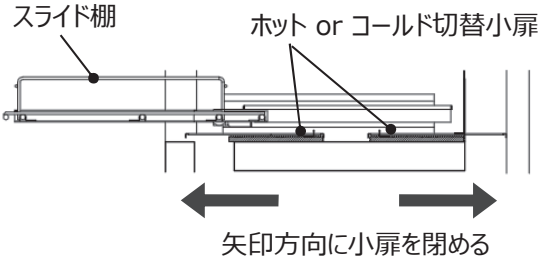
ホット or コールド室は、切り替えをおこなうことで、コールド飲料用または、ホット飲料用としてご使用いただけます。
工場出荷時は、コールド室の設定にしていますので、ホット室としてご使用の場合は下記の手順で切り替えてください。

1 ホット or コールド室の最下段のスライド棚を引き出す



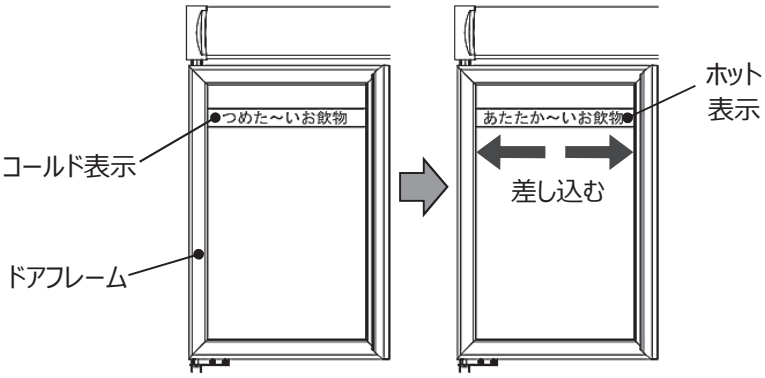
2 ホット・コールド切替小扉を前後に閉める

●ホット・コールドと切替小扉はつきあたるまでしっかりと閉めてください。

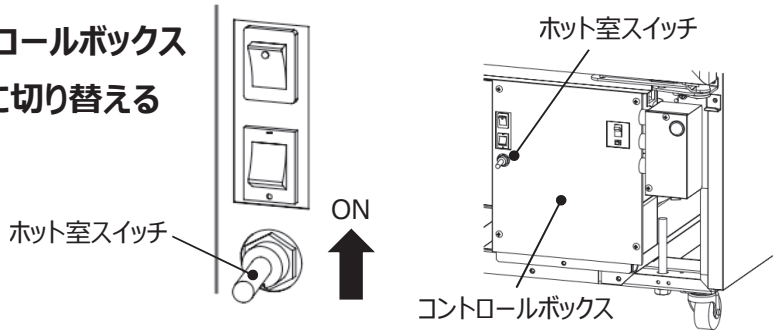


3 ホット・コールド表示を「あたたか～いお飲物」に差し替える

●ドアを開けてドアフレームの長穴に差し込んでください。



4 点検蓋を取りはずし、コントロールボックスのホット室スイッチを「ON」に切り替える



再びコールド室としてご使用の場合は、逆の手順で切り替えてください

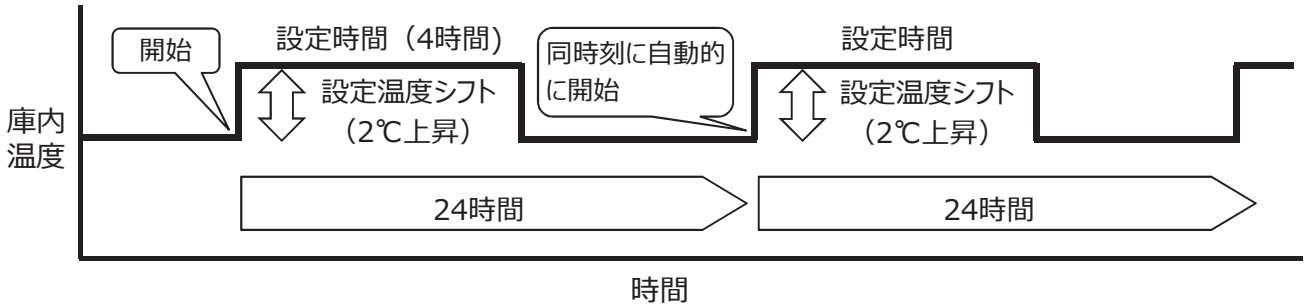
ご使用方法 つづき

冷却温度切り替えについて

扉の開閉の少ない夜間にご使用いただくことで消費電力を抑えることができます。

運転パターン

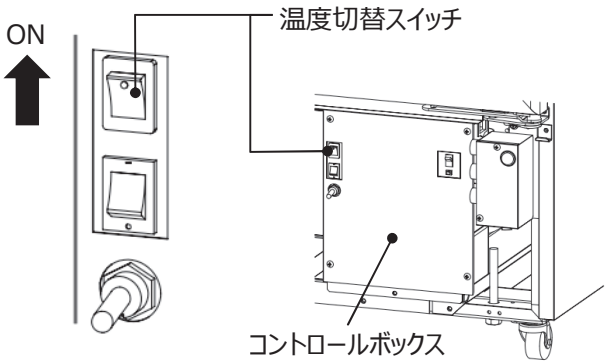
冷却運転温度切り替えを開始すると一定時間、庫内温度設定値を変更します。
一度開始すると24時間サイクルで庫内温度変更を自動的に繰り返します。



冷却温度切り替えを開始・停止する

点検蓋を取りはずし、コントロールボックスの温度切替スイッチを「ON」にして温度切り替えを開始する

●扉開閉の多い時間帯や周囲温度が高いときにスイッチを「ON」にすると、飲料が冷えにくくなりますのでご注意ください。



通常運転としてご使用の場合は、逆の手順で温度切替スイッチを「OFF」に切り替えて停止してください

こんなときは設定しなおしてください

以下の場合は設定がリセットされます。温度切替スイッチを一度「OFF」にしてから、温度切り替えを開始する時間に「ON」にしてください。

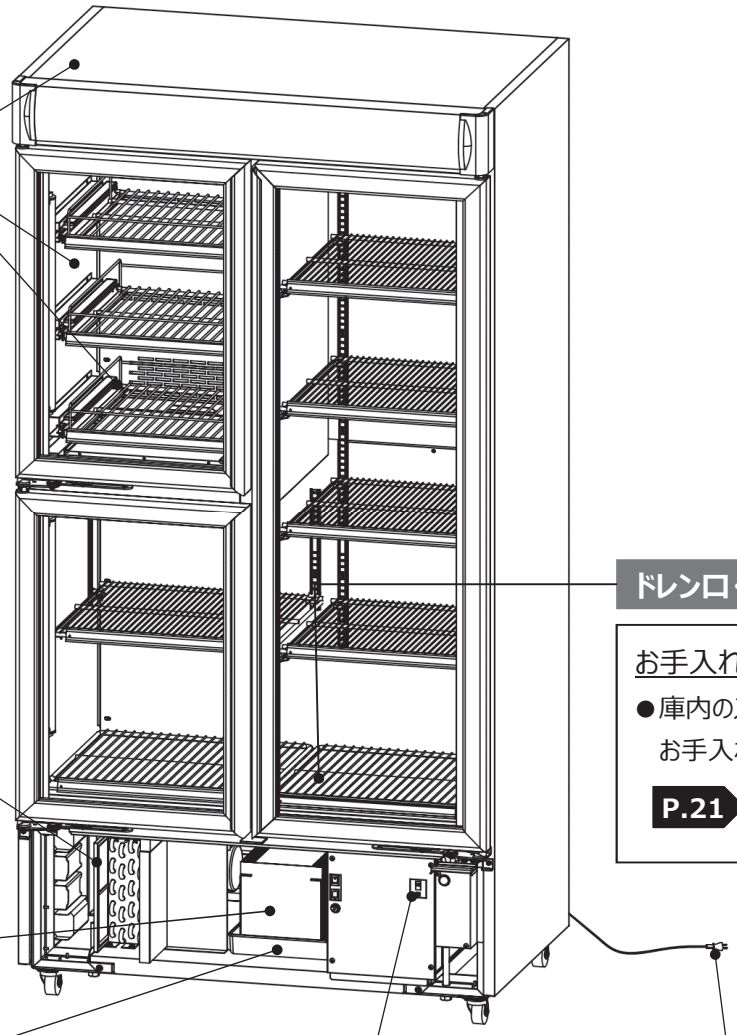
- ●扉開閉の多い時間帯や周囲温度が高いときに開始をしてしまった場合
- ●停電でクーラーの電源が落ちた場合
- ●漏電しゃ断器の点検で電源を落とした場合

※冷凍機スイッチのみを「OFF」にした場合は設定はリセットされません。

お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために定期的にお手入れ・点検をしてください。

お手入れ・点検箇所と頻度



外装・庫内・ガラス

お手入れ：日常

- 乾いた布でから拭きをしてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませた布で拭いたあと、水を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤は原液のままで使用しないでください。

フィルター

お手入れ：月に1回

P.19

蒸発板

お手入れ：半年に1回

P.20

蒸発皿

点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

P.22

ドレン口・ドレン溝

お手入れ：月に1回

- 庫内のスノコを取りはずしお手入れをしてください。

P.21

漏電遮断器

点検：月に1回以上

P.22

電源プラグ

お手入れ：半年に1回

P.19

⚠ 警告	**製品に直接水をかけない** 漏電・感電の原因

お願い

●以下のものは使用しないでください。

（傷つき・腐食・変色・変形の原因になります）

- ◆台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆スチールタワシ・タワシ
- ◆熱湯・酸

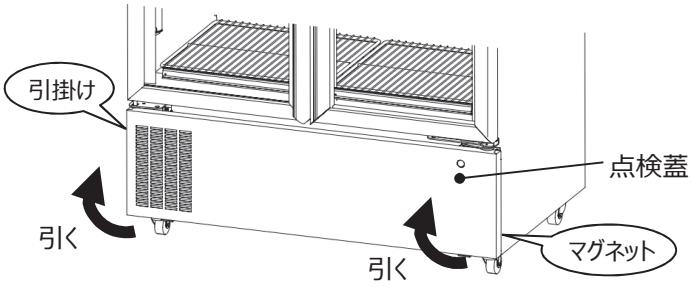
お手入れと点検 つづき

お手入れをする前に

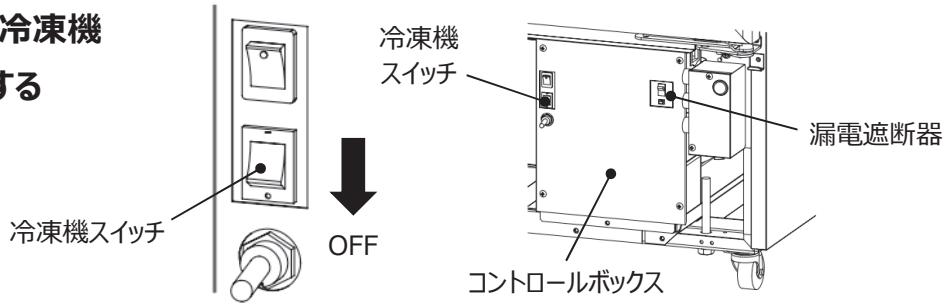
お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために電源プラグを抜くか漏電遮断器を切ってください。

1 点検蓋をはずす

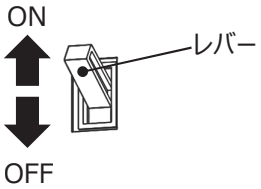
● 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



2 コントロールボックスの冷凍機スイッチを「OFF」にする



3 電源プラグを抜くか漏電遮断器を「OFF」にする



⚠ 警告	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜くか漏電遮断器を切る** 感電・ケガの原因

お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。
再び電源プラグを差すときはほこりをよく取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

お手入れのしかた

フィルター　お手入れ：月に１回

ほこりがたまった状態で運転を続けると、フィルター清掃ランプが点灯し、圧縮機故障の原因になります。

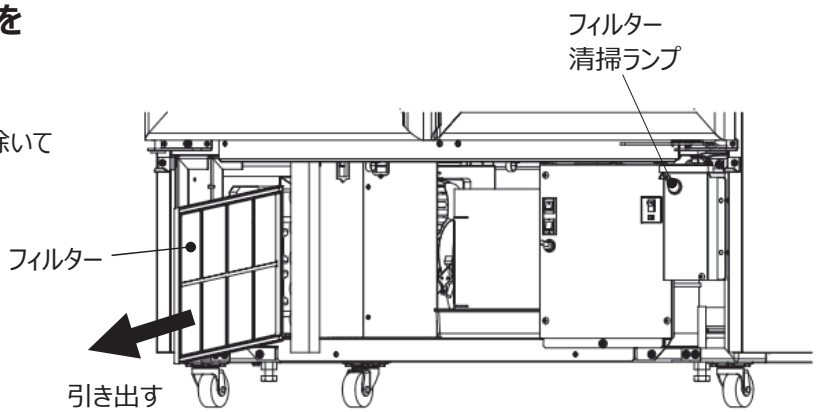
1 **電源を切る** P.18

●お手入れのときは電源を切ってください。

⚠注意	**フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない** ケガの原因

2 **フィルターを引き出してほこりをよく取り除く**

●掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



点検が終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

電源プラグ　お手入れ：半年に1回

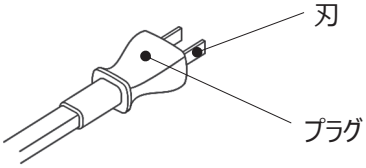
ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

1 **電源を切る** P.18

●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **電源プラグや刃のほこりをよく取り除く**

●水ぶきや水洗いはしないでください。



3 **電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む**

⚠注意	**電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因

お手入れと点検 つづき

蒸発板　お手入れ：半年に1回

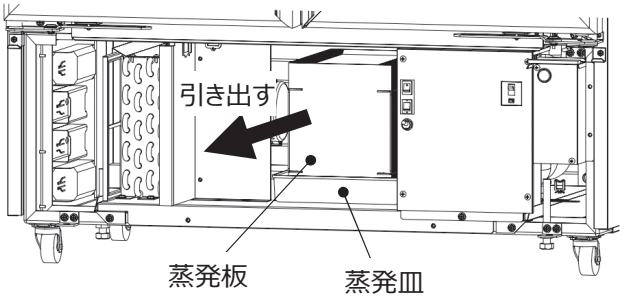
蒸発板によごれが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

1 電源を切る P.18

●お手入れのときは電源を切ってください。

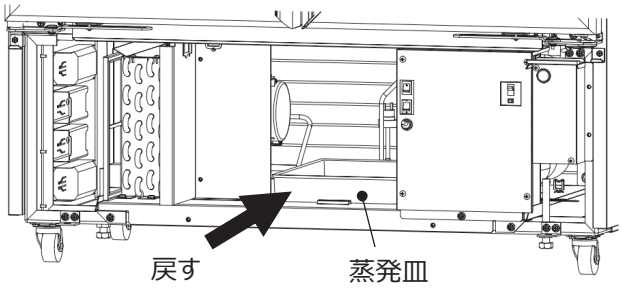
2 蒸発皿と蒸発板を取り出す

●蒸発皿にドレン水が残っている場合があります。
布などで水を吸い取り、引き出してください。



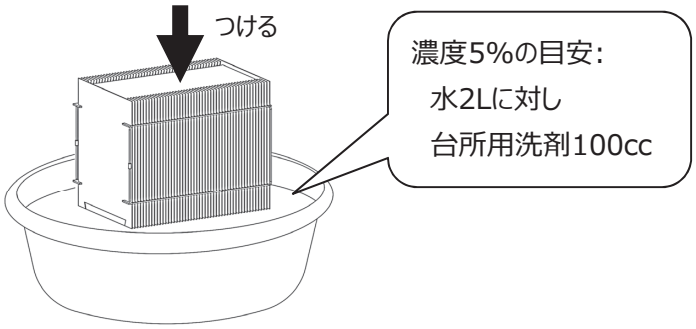
3 蒸発皿のみ元の位置に戻す

●蒸発板をお手入れする間、ドレン水を受けるため元に戻してください。



4 蒸発板を台所用洗剤（中性洗剤）を濃度5%にうすめた液に30秒ほどつける

●蒸発板は水を含むと重たくなります。
持ち上げるときは蒸発板の底面を支えてください。
●蒸発板をブラシなどでこすらないでください。



5 水でよく洗い流す

●洗剤分が残っていると蒸発板のフレームがさびる原因になります。
●すぐに冷却運転を開始しないときは、蒸発板を乾かしてからクーラーに戻してください。

蒸発板の交換について

- お手入れをしても頻繁にドレン水が残っているときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。
(粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)
- 蒸発板はお近くのコカ・コーラボトラーか当社代理店にお問い合わせください。

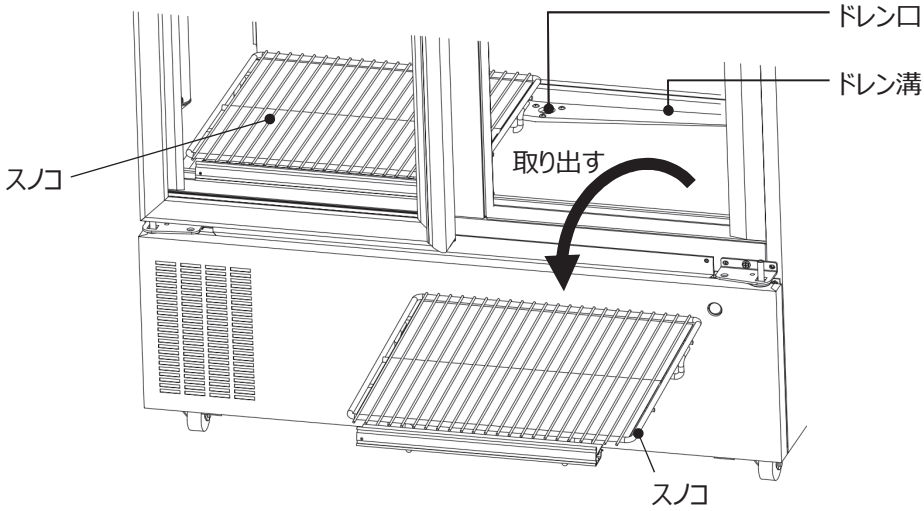
ドレン口・ドレン溝　お手入れ：月に1回

ドレン口がつまった状態で使用すると、ドレン水が排水されず、庫内に水があふれる原因になります。

1 **電源を切る** P.18

●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **スノコを取りはずす**



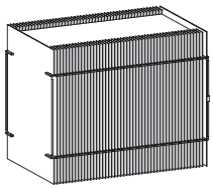
3 **ドレン口やドレン溝に異物やつまりがあるときは取り除く**

●汚れがある場合は水を含ませた布でふいてください。

●ドレン口に直接水を流して清掃しないてください。
水漏れの原因になります。

消耗品

下記の部品は消耗品になりますので、必要に応じて交換をしてください。
ご注文はお近くのコカ・コーラボトラーか当社代理店にお問い合わせください。

蒸発板（交換目安:2年）	蛍　光　灯	グロースタータ
 R22007868	 15W用　R22007330 32W用　R22001330 40W用　R22006330	 15W用　R22002331 32W用　R22001331 40W用　R22003331

交換目安はご使用方法・環境により変化します。

お手入れと点検 つづき

点検のしかた

漏電遮断器　点検：月に1回以上

故障した状態でご使用されますと、感電の原因になります。

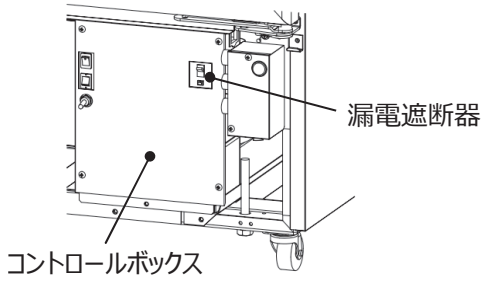
1 **冷却運転を停止する** P.13

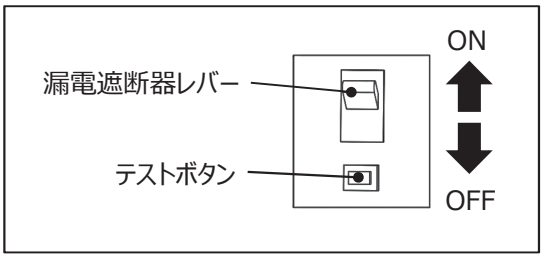
●点検は電源が入っている状態でおこなってください。

⚠警告	**漏電遮断器は定期的に動作を確認する** 火災・感電の原因

2 **漏電遮断器のテストボタンを押す**

●正しく作動すると、レバーが「OFF」になります。





3 **作動確認後、レバーの位置を「OFF」から「ON」にする**

点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のクーラーに移すなど処置した上で、お近くのコカ・コーラボトラーか当社代理店にご連絡ください。

蒸発皿　点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

水漏れを防止するために、蒸発皿にドレン水が残っていないか定期的に点検をしてください。

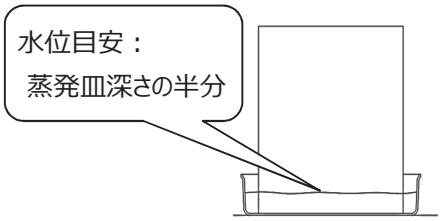
1 **電源を切る** P.18

●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をする**

●蒸発皿深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っているときは蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。
蒸発板のお手入れをするか、新しい蒸発板に交換してください。

P.20 P.21



故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のクーラーに移すなど処置した上でお近くのコカ・コーラボトラーか当社代理店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや配線用 漏電遮断器がきれていませんか。	お店の電源ヒューズや配線用 漏電遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから 抜けていませんか。	電源プラグや刃のほこりをよく取り除き根元まで 確実に差し込んでください。
	クーラーの漏電遮断器が「OFF」 になっていませんか。	漏電遮断器を「ON」にしてください。
	冷凍機スイッチが「OFF」になって いませんか。	冷凍機スイッチを「ON」に してください。 P.13
	除霜運転中ではありませんか。	霜取り運転を行っています。 30分程で運転を再開します。 P.13
	温度調整運転中ではありませんか。	庫内温度が規定値に達すると運転を再開します。 しばらく経ってから圧縮機と送風機（凝縮器）が 運転しているか確認してください。
	運転停止後5分以内で運転を 再開していませんか。	運転後停止後、5分以内に再開した場合は、 圧縮機は5分経過後に運転を開始します。
よく冷えない	クーラーの前後左右に10cm以上の すきまがありますか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上 すきまをあけてください。 P.9
	直射日光があたったり、近くに 熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる 原因になりますので据え付け場所を調整 してください。 P.9
	冷凍機スイッチが「OFF」になって いませんか。	冷凍機スイッチを「ON」に してください。 P.13

故障かな?と思ったら つづき

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない（つづき）	冷気の吹出口・吸込口を商品などで塞いでいませんか。	冷気の吹出口・吸込口から商品などを取り除いてください。 P.14
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れしてください。 P.19
	扉が開いていませんか。	クーラーが前側に傾いていると扉が閉まりにくくなりますので前後の傾きを調整してください。 P.10
	ホット or コールド室をコールド運転に切り替えていますか。（BC-DH機種のみ）	コールド室の切り替え小扉2ヵ所をあけてホット室スイッチを「OFF」にしてください。 P.15
よく温まらない（BC-DH機種のみ）	ホット or コールド室をホット運転時に切り替えていますか。	温度コールド室の切り替え小扉2ヵ所をあけてホット室スイッチを「ON」にしてください。 P.15
	過昇防止スイッチが作動していませんか	商品が少ないとスイッチが作動します。過昇防止スイッチを押して運転を復帰してください。 P.14
音がうるさい	床がしっかりしたところに据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に据え付けてください。 P.9
	クーラーが壁や物などにあたっていませんか。	クーラーが壁や物などにあたらないように据え付け位置を調整してください。

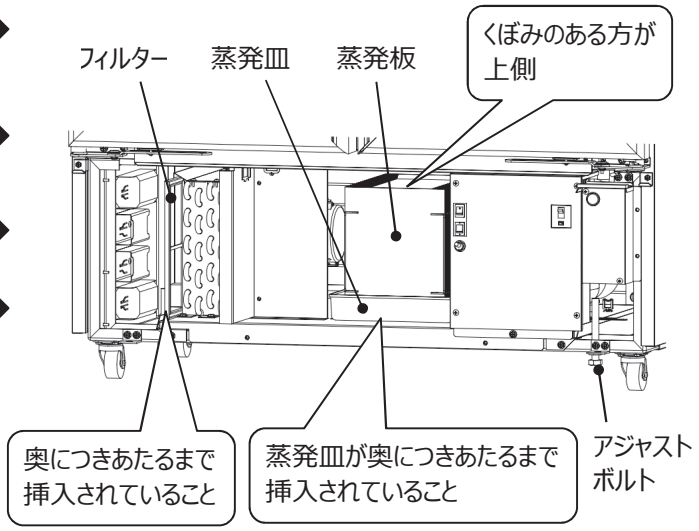
現象	原因の確認	処置方法
照明がつかない	照明スイッチが「OFF」になっていませんか。	照明スイッチを「ON」にしてください。 P.12
	蛍光灯がソケットにしっかりはまっていますか。	ソケットにしっかり差し込んでください。
	蛍光灯が切れていませんか。	蛍光灯を交換してください。
	グロースターターが外れていませんか。	グロースターターをソケットに差し込み直してください。
	グロースターターが切れていませんか。	グロースターターを交換してください。
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	蒸発板がよごれていませんか。	蒸発板のお手入れをしてください。 それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください。 P.20 P.21
フィルター清掃ランプが点灯する	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをしてください。 P.19
フィルター清掃ランプが消灯しない	フィルターをお手入れしたときに、冷凍機スイッチを「OFF」にしましたか。	冷凍機スイッチを一度「OFF」にし、5分経過後再び冷凍機スイッチを「ON」にして運転を再開してください。 P.13

据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトで固定されていますか。 □ P.10
- クーラーの吸気・排気スペースは確保されていますか。 □ P.9
- アース線が接続されていますか。 □ P.11
- クーラー専用のコンセントを使用していますか。 □ P.11
- フィルターが挿入されていますか。 □
- 蒸発皿の位置のずれや、蒸発板が上下逆になっていませんか。 □



保管・移設・廃棄について

長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光の当るところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- 庫内の水気をよく乾燥させてください。
- 蒸発板のお手入れをしてください。

移設をするとき

- 移設は当社代理店または専門業者にご依頼ください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）を製品の目立つところに添付してください。

廃棄をするとき

- 廃棄は専門業者にご依頼ください。

仕様

項目 ＼ 形名			BC-DH33REH	BC-DH43REH	BC-S42REH
用途		-	飲料		
冷却性能		℃	5±3		
加温性能		℃	55±5		-
電源		-	単相100V		
本体	外形寸法 高さ	mm	1900		
	外形寸法 幅	mm	960	1220	1220
	外形寸法 奥行	mm	690	730	750（POP部790）
	定格内容積	L	ホットorコールド室 65 コールド室 278	ホットorコールド室 87 コールド室 363	コールド室 495
	陳列面積	m^2	ホットorコールド室 0.39 コールド室 1.29	ホットorコールド室 0.52 コールド室 1.71	コールド室 2.44
	外装	-	表面処理鋼板焼付塗装及び亜鉛メッキ鋼板		
	内装	-	表面処理鋼板焼付塗装		
	断熱材	-	ウレタン注入発泡		
	扉	-	ヒータ式2重ガラス スイング式 3枚		ヒータ式2重ガラス スライド式2枚
	陳列棚	-	ホットorコールド室 3段 コールド室 4段		コールド室 4段
	脚部	-	ナイロン車輪径Φ50自在キャスター 4個		
	照明	-	15W 2灯 、32W 1灯 40W 1灯	15W 1灯 40W 2灯	40W 3灯
圧縮機	形式	-	全密閉形レシプロ式		
	呼称出力	W	500		
冷却器形式		-	クロスフィン（強制通風式）		
凝縮器形式		-	クロスフィン（強制通風式）		
冷媒	制御方式	-	キャピラリ方式		
	種類	-	CO_2（R744）		
	充填量	g	390	450	
地球温暖化係数（GWP）		-	1		
除霜方式		-	オフサイクル方式		
温度制御		-	マイコン制御		
標準装備		-	ドレン強制蒸発装置、漏電遮断器、アジャストボルト（2本）		
付属品		-	受け金具、棚、スノコ、アース線 ホット・コールド表示		受け金具、棚、スノコ アース線
オプション		-	-		
製品質量		kg	174	208	213

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、このリーチインタイプクーラーの補修用性能部品を製造打切後12年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お近くのコカ・コーラボトラーか「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（P.23～25）にしたがってお調べください。

●なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のクーラーに移すなど処置した上で、お近くのコカ・コーラボトラーか当社代理店にご連絡ください。

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

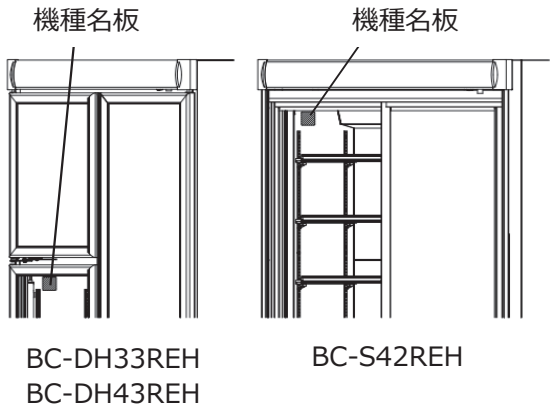
●修理料金は

技術料+部品代+出張料などで構成されています。

・技術料・・・製品の点検や故　障した製品を正常に修復するための料金です。
・部品代・・・修理に使用した部品代金です。
・出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡頂きたい内容

1. 品名　三菱リーチインタイプクーラー
（ノンフロンであることをお伝えください）
2. 形名　庫内機種名板に記載
例）BC-DH33REH-RN
3. 製造番号
（庫内機種名板に記載の8桁の番号）



4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
5. 設置年月日
6. 設置場所のご住所
7. お名前・電話番号・訪問希望日

便　利　メ　モ	コカ・コーラボトラー社名
	電話番号

三菱電機株式会社
三菱電機冷熱応用システム株式会社
〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号（三菱電機（株）冷熱システム製作所内）